

ICT・情報

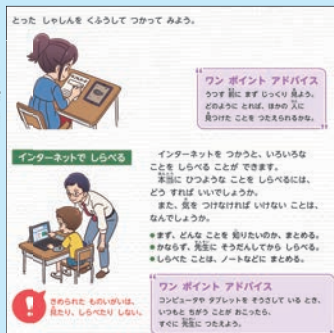
人に聞いたり本で調べたりするほか、郵便、電話、インターネットなど多様な情報収集の手段や場面を示しました。

また、タブレット端末などのICT機器、インターネットの活用場面のほか、それらを使用する際の注意や約束を示すことで、情報モラルの意識付けも図っています。

しゃしんや どうかを とるときは かならず とって よいか 聞こう。

しゃしんをとってもいいですか。

下 p.8



下 p.125

SDGs・環境

「できることから始める」を基本に、資源の分類・再利用を活動の中で約束事として示し、普段の生活でも身に付けるよう配慮しています。

また、生き物や自然と触れ合う活動を通して、生き物や自然への関心をもち、大切にすることを学べるよう配慮しています。

下 p.74



上 p.91

公共心

単元を通して、公共の施設の利用方法や公共のマナーをイラストや写真で示しました。公共でのマナーだけでなく、子どもたちが地域・社会の一員と感じ、より良く社会のために行動をしていけるよう配慮しています。

じゅんばんをまもってあそぼう。

こんにちは。

こんにちは。

上 p.56



安全・健康

手洗いのしかたや登下校の注意点をイラストで示すほか、健康・衛生・安全面について注意を必要とする活動ページには「手洗い・うがい」「注意」のマークを示すことで、子どもが安全、健康で衛生的な生活を自ら意識して送れるよう配慮しています。



上 p.6

国際理解

教科書の随所に外国人キャラクターが登場するほか、多様な言語表記の案内板の写真など、身近なもの・ことから他国の文化などに目を向け、自分との関わりで考えられるよう配慮しています。



下 p.15

上下巻巻末の「先生・保護者のみなさまへ」のQRコードを読み込むと英・中国・ポルトガル・タガログ・韓国・スペイン語で、その内容が示されます。



人権・福祉

男女の登場回数や役割分担に偏りがないように配慮した上で、身近な幼児、高齢者、障がいのある人など、多様な人々との自然な関わりを写真・イラストで随所に示しました。

また、バリアフリーの視点から身近な福祉設備を取り上げ、身の回りの多様な人々への配慮にも気付けるよう配慮しています。



下 p.14

キャリア教育

「がっこうたんけん」「まちたんけん」など、身近で働く様々な業種の人々と関わる活動を通して、多くの職業が自分達とどう関わっているのかを考え、意識できるよう配慮しています。

また、探検活動を含む1年間をふり返る活動では、成長した自分から、将来の自分について考え、そこに向かってどう生活していくかを考えられるよう構成されています。



下 p.111

伝統文化

地域の行事やお祭りに参加することで、郷土愛を育み、高齢者の方々から昔の遊びを教えてもらうことで、伝統的な遊びの良さを体感します。

下巻「まちたんけん」では各地域の祭りや季節ごとの行事を、「わたしたちの野さいばたけ」では、地域の伝統野菜を掲載しています。



下 p.18